



広報

# ししか

ShikaTown

## 伝統の西海祭り

8月14日(土)に西海祭りが行われました。

西海地区は、漁師、船乗りが多かったため、豊漁祈願、航海の安全祈願の祭りです。

特徴は女性もキリコを担ぐという能登では大変めずらしい祭りです。女性はおこし(腰巻)に浴衣と前掛けをして、足袋にわらじと一風変わった格好でキリコを担ぎます。

2010

9 月号

September

No.61

### INDEX

志賀相撲教室	2~4
健康ニュース・健康フェア	6~7
まちかどルポ	12~14
情報パーク	16~17
ホットライン発電所	18~19
生涯学習だより	20~21

# 志賀相撲教室

# 快進撃の原動力はこの2人だ。

高浜小学校4年

赤芝龍洋

富来小学校5年

干場伸介

今年の4月に志賀町立図書館前  
にある角力場すもうで新たな歴史が始  
まった。町内で初めての、小学生  
を対象にした志賀相撲教室が開か  
れている。

石川県は相撲が盛んに行われて  
いる。志賀相撲教室に通う子ども  
たちも、志賀町代表として各大会  
に出場している。

この教室ができる以前の志賀町  
では、各小学校単位で町外の大会  
に出場していた。しかし、各小学  
校単位の出場では、県大会でも上

位に残ることは難しかった。

教室の代表を務める上田信也さ  
んは、土田小学校PTA時代から  
子どもたちに相撲を教えていて、  
OBとなった今でも相撲を教えて  
いる。3年以上前からは、各小学  
校単位の出場ではなく、志賀クラ  
ブとして町外の大会があるときだ  
け志賀町代表チームを作り、数回  
角力場すもうで練習していた。そんなと  
きから「志賀町にはこんないい  
角力場すもうがあるのにもったいない」

と感じていた。

昨年の暮れに、能登地区の相撲  
に関する会合が開かれた。志賀町  
は各小学校単位で大会に出場して  
いたこともあり、会合の主催者は  
「指導者に誰を呼んでいいのかわ  
からない」状態だった。

そんなとき、子どもが上田さん  
の指導を受けていた保護者が「志  
賀町に上田という熱心な指導者が  
いる」と紹介したことで、会合へ  
の誘いを受ける。そこで町単位で  
のチーム作りの必要性を改めて感

じた。同じころ東京で相撲の指導

者講習会が開かれ、現在教室の事  
務局長を務めている道辻敬志さん  
とともに参加し、刺激を受けた上  
田さんはいよいよ決心する。「志賀  
町全体から子どもたちを集めて、  
教室をせんならん」。道辻さんに  
「教室を開くから協力してくれん  
か。最低でも10年はやりたいんや」  
と伝えた。同じく教室の必要性を  
感じていた道辻さんは快諾した。  
「相撲を続けたいが志賀町には



相撲を続ける環境がないと、金沢市の鳴和中学校に進んだ2人の子がいます。山崎悠也さん（金沢市立高校1年）と平野賢也さん（鳴和中学校3年）です。まだ12、13歳の子が親元を離れなければ相撲を続けることができないという環境は寂しいこと。底辺での相撲人口が増えれば、中学校でも部活ができるんじゃないかと思ったんです。教室の必要性を感じていたところに会合への誘いや指導者講習会があつて、すべてのタイミングが一致したことで教室を開こうと思いました」と上田さん。

やると決めてからが早かった。町や保護者の協力もあつて、角力場のリニューアルが急ピッチで行われた。子どもたちが怪我をしないように、コンクリートの壁に板を張り、鉄砲柱を新調した。砂もすべて入れ替えた。わずか2週間で完成させた。

教室ができる前は、「どこかの地区の児童が集まって、偏つてしまふのではないか」という心配はあつたが、いざ始めてみると、志

賀町全域から子どもたちが集まってくれた。現在では男子21人、女子3人が通っている。

その中でも、大きな体格を生かして、町内外の大会で好成績を収めているのが、富来小学校5年の干場伸介君と高浜小学校4年の赤芝龍洋君だ。2人は6月に加賀市で行われた、わんぱく相撲石川大会で羽咋郡市チームのメンバーに選ばれた。その大会で団体優勝を果たし、個人戦でも干場君が見事優勝した。志賀相撲教室を始めてから、2カ月足らずでの全国大会出場だった。

干場君は身長160cm、体重95kg。足のサイズは27cmもある。生まれた頃は普通の子と変わらなかった。ところが小学校1年生の頃からどんどん大きくなった。好物は肉で野菜と魚は少し苦手だ。

志賀相撲教室が始まる前の1月から、能登島にある相撲教室に通っている。4月からは志賀相撲教室と掛け持ちで練習している。赤芝君は身長148cm、体重70kg。生まれたときは平均より小さ

い2、500gだったが、小学校2、3年生の頃から大きくなり始めた。やはり肉が好きだ

赤芝君は4月に教室ができてから相撲を始めた。わんぱく相撲石川大会で羽咋郡市チームとして優勝した2人は、8月1日に両国国技館で行われた、第26回わんぱく相撲全国大会へ出場した。この大会は花田光司（現貴乃花親方）や現在活躍中の力士たちが過去に横綱（優勝）になっている。大会の前日には、武蔵川部屋で力士たちと共に過ごすことができた。

全国大会には396人の選手たちが参加していた。全国から選ばれた選手たちの体は大きく、2人の体は小さかった。そんな大会でも彼らは強かった。団体戦で3位となり、干場君は個人戦でも関脇（3位）となった。

今年の12月にもう一度、両国国技館で全国大会が行われる。8月から始まる穴水予選、県予選、北信越予選を経て大舞台に立つことができる。目指すは横綱だ。



練習終りにみんなで土俵に集まりぞんきよ蹲踞。



干場君の取り組みを周りそにいる子たちが、真剣な眼差しで見ている。



手を使った練習で、実際にどのような場面で効果があるのか教えている様子。



土田小学校4年 道辻あいみさん

「相撲が好きです」と話す道辻あいみさん。

大の負けず嫌い何でも勝つまでやらないと気が済まないタイプ。

5月に能登町で行われた大会で女子の部3位になり、練習にも気合いが入る。



志賀相撲教室代表  
上田信也さん

この教室には低学年の子どもたちが多くいて、今後が楽しみです。町内の大会前に、練習で教室に通う子どもたちが、しこやすり足をお手本にされたと聞き大変うれしかったです。週3回の練習は多いほうだと思いますが、3回あるうちのどの日かに来られるように多くの練習日を設けています。



志賀相撲教室事務局  
道辻敬志さん

練習のある月・水・金曜日は私か上田さんが必ず角力場の鍵すまうを開けて準備をしています。あとは大会の案内や申し込み、出席簿など事務や会計をやっています。4カ月が経って、子どもたちは礼儀が良くなったと思います。教室には、小学校2年生から6年生までの各学年に10人くらいの子どもたちに来てもらいたいですね。



個人戦で入賞を果たした選手たち

8月22日(日)に穴水町で、県少年相撲能登地区大会が行われました。志賀町からは加茂、富来小学校、志賀相撲教室が参加しました。団体戦では、富来小学校と志賀相撲教室がベスト16に残り、9月に行われる県大会に出場します。

- |       |       |    |               |
|-------|-------|----|---------------|
| 男子個人戦 | 5年生の部 | 優勝 | 干場伸介君 (富来小)   |
|       | 4年生の部 | 2位 | 的場拓真君 (富来小)   |
|       | 3年生の部 | 2位 | 落合優大君 (富来小)   |
|       |       | 3位 | 奥田琢朗君 (富来小)   |
| 女子個人戦 | 6年生の部 | 優勝 | 笠原麗央奈さん (富来小) |
|       |       | 2位 | 山本理紗さん (富来小)  |
|       | 5年生の部 | 3位 | 表百合加さん (富来小)  |
|       | 4年生の部 | 2位 | 仕入袖奈さん (富来小)  |
|       |       | 3位 | 道辻あいみさん (土田小) |

お問い合わせ先  
生涯学習課  
☎ 32-93350

毎週月、水、金曜日の週3日間練習しています。時間は、19時から20時30分までです。興味のある人は、誰でも見学することが出来ます。教室に通いたい人は、役場生涯学習課にある入会申込書を提出すれば、通うことができます。年会費は2,000円(大会登録料など)です。

### 志賀相撲教室の紹介



志賀町立図書館前にある角力場